

道徳科の授業づくり さらなる質の向上を目指して!

新潟市教育委員会学校支援課

教科化に伴い、各校において「特別の教科 道徳」の授業づくりに取り組んでいただいていることと思います。さらに各校の授業の質が高まり、子どもたちの道徳性が育つように、授業づくりのポイントを2つ示します。(展開例を裏ページに示しています。)



ポイント①
**学習課題に対する問題意識を高め、
子どもが主体的に考える授業にしましょう!**

学習課題の設定について、各校の実践では、主に次の2つの方法で行われています。

- ① 教材提示の前に、学習課題を設定する方法〔展開例A〕
- ② 教材から子どもの問題意識を促して学習課題につなげる方法〔展開例B〕

学習課題を設定する方法①、②には、それぞれによさと問題点があります。考えられる改善策を含め、下に示します。

	① 教材提示の前に設定する方法	② 教材から問題意識を促してつなげる方法
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいに直結した学習課題を設定できる ・短時間で設定できるため、話し合い等の時間を確保しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが問題意識をもって、主体的に課題の追求活動に取り組む
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習課題に対する問題意識を高めにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階に学習課題を設定できない(新潟市の授業づくりフレームワークに合わない) ・話し合い等の時間が確保しづらい(設定までに時間を要するため)
問題点の改善策	<p>(学習課題を提示する前に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○画像や作文等により生活場面での問題点を示す ○アンケート等のデータや新聞等の情報を提示する ○成功・失敗等の経験を想起させる働き掛けを行う <p>ポイント1の①〔展開例AのT1 参照〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業者の構想に合わせて学習課題の設定位置を考える(道徳科では早い段階で設定しなくともよい) ○学習課題設定までの時間短縮の工夫を行う <ul style="list-style-type: none"> ・即、教材提示から授業に入る ・教材の状況把握を授業者主導で行う など <p>ポイント1の②〔展開例BのT1、T2 参照〕</p>

ポイント②
**道徳的価値について話し合う活動を設定して、
子どもが道徳的価値の理解を深める授業にしましょう!**

道徳科の授業で欠かせないことは、「道徳的価値の理解を深める」ことです。しかし、計画訪問等における実践の中には、行為についての話し合いが主となり、道徳的価値の理解を深める手立てが欠ける授業が見られます。このことを解消するには、「道徳的価値の理解を深める」ということを、どのようにとらえたらよいかを考える必要があります。市教委では、次のように考えています。

**道徳的価値の大切さや意義について「頭の中で(観念的に)知っている段階」から
本当に大切なことなんだ!と(実感を伴って)理解する段階」に深めること**

この「本当に大切なことなんだ!と(実感を伴って)理解する段階」まで深めるには、次の2点が大切です。

① 道徳的価値(の大切さ、本質、意義等)について話し合う活動を設定する

教材の問題場面を基に、次のような働き掛けを行い、話し合う活動を設定する

〔価値の大切さを問う働き掛けの例〕
「どうして相手を許すことが大切なのかな?」「なぜ自然を守ることが大切なのかな?」

〔価値の本質を問う働き掛けの例〕
「本当の友情とはどういうことかな?」「それって本当の思いやりって言えるのかな?」

〔価値の意義を問う働き掛けの例〕
「なぜきまりがあるのかな?」「なぜ伝統を大切にしなければならないのかな?」

ポイント2の①〔展開例AのT3、展開例BのT4 参照〕

② ①の話し合う活動において、実感を伴う理解を促す手立てを講じる

子どもに次のような「見方・考え方」を促す働き掛けを行う

- 価値の実現は難しいという人間の弱さを理解したうえで考える
- 価値に関して似たような経験やその時の考え方、気持ちを想起して考える
- 価値にかかわる他者から出てくる様々な立場や観点からの考えを理解しようとするとともに、納得できる考えを見いだす

ポイント2の②〔展開例AのT3・T5、展開例BのT4 参照〕



話し合いを通して、子どもたちが納得し合えたことを授業者が引き出し、「まとめ」につなげます。さらに、「まとめ」または「振り返り」で、学んだことに対する自分の考えを明確にさせます。

具体的な解決策を考える「問題解決的な学習」を採り入れる場合は、次のことに留意します。
※必ず採り入れなければならないということではありません

- 解決策については全体で一つにまとめることはしない。個々の納得解をもたせる。
- 解決策を出させることを目的としない。判断する力を高めること、さらなる道徳的価値の深まりを目指すこと、実践意欲を高めることを目的とする。

ポイント1、2を重視した、教材『手品師』(光村図書6年生)による授業展開例

この展開例は、指導方法を伝えることを目的としていません。前ページで示したポイント1、2に関して伝えることを中心とした例です。教材や子どもの実態、授業者の指導観に合うように、多様な指導方法や働き掛け(教材の提示方法<一括・分割・再現構成法等>、発問・指示等)を工夫してください。

※教材提示の前に学習課題を設定する場合は、T1のような学習課題に対する問題意識を高めるための働き掛けを行います。どのような働き掛けが効果があるかを考え、工夫する必要があります。

※学習課題については、教材から子どもがもった問題意識を大切に(1案)のように設定する場合と、道徳的価値の理解に直結させることを大切に(2案)のように設定する場合があります。学習課題に対応するまとも(1案)、(2案)のようになります。どちらの場合でも、T3、4のような道徳的価値の検討の場の設定が大切です。

展開例A 教材提示前に学習課題を設定し、道徳的価値の理解を深める授業展開例

導入	T1 約束していたけれども別の都合ができて迷うことがあるよね。約束を守るとは大切なことなのかな。約束を守った経験、守らなかった経験やその時の気持ちを教えてくれるかな。(6分)	ポイント1の① 経験を想起させながら考えの違いを引き出し、問題意識を高める。
	C1 守った方がよい。約束を守った時、守ってよかったと思った。約束を守らなかった時、相手のことがとても気になった。	
展開	T2 約束よりも大切な都合があったら守らなくてもよい。T2 考えが分かっているね。では、今日は、このことについて考えていきましょう。(1分)	ポイント2の① 行為を選択する根拠について話し合う活動を設定し、根拠とする道徳的価値に着目させていく。
	C2 約束よりも大切な都合があったら守らなくてもよい。T2 考えが分かっているね。では、今日は、このことについて考えていきましょう。(1分)	
開	T3 (教科書教材を2つに分割する。迷っている場面までの前半部分を提示する) 手品師が、少年との約束を守るのか、大劇場に行くのかで迷うのは、どんな気持ちからかな? (グループでの話し合い、その後全体で共有する)(22分)	ポイント2の② 考えの観点や立場の違いが明確になるように整理して、価値の大切さを多面的・多角的に理解できるようにする。
	C3 ○「少年のところに行く」と考えるのは ・嘘をつくと嫌な気持ちが残る。<自分・誠実> ・少年に悲しい思いをさせたくない。<相手・思いやり> ・約束を守る社会でなければ。<集団・公德心> ○「大劇場に行く」と考えるのは ・自分の夢を実現することの方が大切。<自分・希望> ・二度とないチャンスかもしれない。<自分・希望> ・せつかくの友人の勧めを断れない。<周囲・友情>	
終末	T4 話には続きがあります。(教材の後半部分を提示する)(2分)	ポイント2の② 約束を守って喜ばれた時の経験を想起させ、約束を守ることの大切さを納得させる。
	T5 手品師は少年のところに行きましたね。少年が喜んで手品を見ていることを笑顔で見えていますね。この時、手品師はどんなことを考え、どんな気持ちだったと思いますか?(5分)	
終末	T6 みんなで話し合ったことや最後の手品師の気持ちを考えたことから、まとめるとどうなるのかな。これでいいかな。(2分)	ポイント2の② 役割演技等の体験活動を通して、気持ちを考えさせる方法も効果的である。
	T7 今日学習したことを振り返りましょう。学習したことの中で最も「なるほど」と思ったことと、その理由を書きましょう。(5分)	
終末	C5 どちらにしたらよいか迷うことはよくあることだ。自分はどちらが大切と考えて行動することが大切なんだなと強く思った。そのわけは…。	問題解決的な学習 具体的な解決策をできるだけたくさん表出させる。
	T8 今日学んだことをこれからの生活の中で活かしていけそうですか?(2分) (「実践度スケール」で実践に向けた思いを示させて、一言考えを書かせる)	

展開例B 教材から生まれた子どもの問題意識を基に学習課題を設定し、道徳的価値の理解を深めるとともに、解決策を考えさせる授業展開例

導入	T1 (教科書教材の少年のところへ行く後半部分を削除して、迷う場面までを教材として提示する) 手品師は、少年のところへ行くか、大劇場に行くかで迷っているけれども、この気持ち分かるかな?(5分)	ポイント1の② 教材提示から授業をスタート!状況把握も授業者主体で時間をかけずに確認!
	C1 分かる、分かる! かなり迷っちゃうね。	
展開	T2 自分が手品師だったら、どうするかな?それはどうしてかな?(4分)	ポイント1の② 教材から子どもの問題意識を促し、自分ごととして考えさせる。
	学習課題(1案): 自分が手品師だったら、どうするか? なぜか?	
開	T3 「約束を守ることが大切」「夢の実現が大切」という理由なんだね。ところで、なぜ約束を守ることが大切なの?なぜ夢を実現することは大切なの?(2分)	ポイント2の① 根拠として出される道徳的価値に着目させ、学習課題につなげ、話し合う活動を設定する。
	C2 ○先に約束したのだから少年のところへ行く。 ○夢を実現するチャンスなんだから大劇場に行く。	
開	T4 このことについてみんなで考え、話し合おう。(グループで話し合い、その後全体でシェアする。)(17分)	ポイント2の② 大切さについてたくさんの理由を考えさせたり、経験を想起させたりする。
	学習課題(2案): 約束を守るとはなぜ大切なのか? 夢を実現させることはなぜ大切なのか?	
開	C4 ○約束を守ること ・嘘をつくと嫌な気持ちが残る。<自分・誠実> ・相手に悲しい思いをさせたくない。<相手・思いやり> ・約束を守る社会でないと生活しにくい。<集団・公德心> ・先に約束したことを守ることは当然。<集団・公德心> ○夢を実現させること ・生活がかかっている。<自分・実生活の面から> ・これまで必死に努力してきたのだから。<自分・希望、向上心> ・二度とないチャンスかもしれない。<自分・希望、向上心> ・夢の実現は自分のためだけではない。<周囲・友情、家族愛>	ポイント2の② 考えの観点や立場の違いが明確になるように整理して、価値の大切さを多面的・多角的に理解できるようにする。
	T5 どの考えに「なるほど」と思ったかな。(子どもたちの考えを確認しながら) みんなの考えからすると、まとめはこれでいいかな?(2分)	
終末	まとめ(1案): ○○○○という理由で約束を守るとは大切だ。 ○○○○という理由で夢を実現することは大切だ。	問題解決的な学習 具体的な解決策をできるだけたくさん表出させる。
	T6 約束を守ると、夢を実現することもどちらも大切なんだね。でもどちらかしか選べないんだよね。自分ならどうする?(6分)	
終末	C5 ○少年のところへ行く。大劇場には手品をしているビデオを送って、チャンスをもらえるようにする。 ○大劇場に行く。少年の所には友達の手品師に行ってもらおう。	一つにまとめることはせずに、個々の納得解をもたせる。
	T7 これまで学習したことを基に、自分だったらどうするかを考え、ノートにまとめよう。(2分)	
終末	1案まとめ: 自分だったら◇◇するが、一方についても◇◇する。	問題解決的な学習 具体的な解決策をできるだけたくさん表出させる。
	T8 今日学習したことを振り返りましょう。学習したことの中で最も「なるほど」と思ったことと、その理由を書きましょう。(5分)	
終末	C5 どちらにしたらよいか迷うことはよくあることだ。どちらにするか決めたら、それで終わらず、もう一方についてもできる限り考えて行動することが大切だと強く思った。そのわけは、…。	問題解決的な学習 具体的な解決策をできるだけたくさん表出させる。
	T9 今日学んだことをこれからの生活の中で活かしていけそうですか?(2分) (「実践度スケール」で実践に向けた思いを示させて、一言考えを書かせる)	